たんぽぽだより

2024 年 1 月 22 日　発行 358 号

社会福祉法人　**龍**鳳　たんぽぽ
〒176-0001　練馬区練馬 2-14-9
TEL03-5946-3588
http://www.fukushiryuhoh.or.jp/tanpopo/

□基本理念

〇利用者の心と体をもっとも大切に考え、自立と社会参加を援助することを基本理念としています。

〇温もりのある心と未来を見通す広い視野をもって、利用者一人一人の持つ能力や才能を存分に発揮できるよう努めます。

物事が整い、理想に向かう辰年に

施設長　澤井　康郎

この度は令和６年能登半島地震に際し、被災された地域の方々と関係者の方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。元日より関東地方まで揺れを感じ、他人ごとではない恐ろしさとともに、後から知る被害の大きさに心を痛めておりました。昨年末より、災害時安否確認テストメールをしておりまして、いざという時に対応できるか再度確認しシュミレーションしておくことが大事だと改めて痛感いたしました。１月の異名は、「睦月」と言います。「睦月」とはお正月に家族や親戚が集まって、新年を迎えて喜び合うことです。被災された方々にとって突然奪われた日常が早く元に戻るよう１日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

さて、新しい年が始まり、２０日も過ぎました。利用者さんたちは、毎日元気に通所してきています。今年の十二支は、「辰」です。以前、ＮＨＫの「チコちゃんに叱られる」で紹介されていましたが、十二支の本来の意味は、植物の成長の過程です。その起源は、三千年前の中国の殷王朝の暦だそうです。「子」は、新しい命が種の中で芽生え始める。「丑」は、芽が種の中に生まれ、まだ伸びることができない。「寅」は、春が来て根や茎が生まれる。「卯」は、根や茎が地面を覆う。「辰」は、根や茎の形が整う。「巳」は、根や茎の成長が限界を迎える。「午」は、植物の成長が止まる。「未」は、葉が生い茂り、果実ができ始める。「申」は、果実が育ち固まっていく。「酉」は、果実が完全に育つ。「戌」は、植物が枯れている。「亥」は、植物の命が種の中に閉じ込められる。このような意味があるようです。「辰」は漢書「律暦志（りつれきし)」によると、「振」（しん：「ふるう」「ととのう」）の意味で、草木の形が整った状態を表しているそうです。また、天高くのぼる竜に守られる辰年は「強運」や「お金に困らない」といった言い伝えがあるそうです。ですから、株式相場の格言では、「戌亥の借金、辰巳で返せ」と言い表され、辰年は景気が良くなると言われております。また他に、辰年は理想に向かって辛抱強く抵抗や妨害と戦って歩みを進めていく様も表しているそうです。たんぽぽでは、今年も基本理念に則り、利用者さんに寄り添い、職員一同努力していく所存です。

本年もたんぽぽの利用者さんたちが健康に楽しく通所できますよう、家庭・地域・関係機関の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

2月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 開所日
4	5	6	7	8	9	10
11 建国記念の日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28	29		

～ありがとうございました～

令和５年 12 月上旬、先日頂いた南町小で収穫したみかんのお礼状を、南町小学校・星校長先生にお渡しすることができました。生活介護の皆さんを中心に、一所懸命に作成したお礼状です。

今後も引き続き、南町小学校との交流を大切にしていきたいと思います。

ベルマーク・使用済み切手寄付のお願い

たんぽぽでは、ベルマークと使用済み切手の回収を行っています。ベルマークは日頃から交流させて頂いている南町小学校へお持ちし、子どもたちに必要な備品等を購入する事が出来ます。使用済み切手は練馬区社会福祉協議会へお持ちし、広報紙の費用など地域福祉活動に役立てる事が出来るそうです。

皆様のご家庭にベルマークと使用済み切手がございましたら、是非たんぽぽへの寄付にご協力よろしくお願いします。その際、お手数ではございますが周りを切り取りお持ち下さい。

地域交流課

たんぽぽだよりバックナンバーは、たんぽぽ HP（http://www.fukushiryuhoh.or.jp/tanpopo/よりご覧いただけます。

日帰り旅行

今年度の日帰り旅行は池袋防災館での体験・見学と「いけびず」での昼食を楽しんできました。
６月を皮切りに１２月まで６グループに分かれて実施いたしました。

地震体験

東日本大震災などの大きな地震も含めて、５段階の揺れを体験できます。

消火体験

大型スクリーンに映し出される炎に向かって消火体験をしました。

煙体験

煙の中で出口を探しながら、避難する体験をしました。

ＶＲ体験

VR（バーチャルリアリティ）技術を活用し、火災の疑似体験をしました。

昼食

事前に決めておいたメニューを楽しみ、各自で支払いを済ませました。

集合写真

体験の最後に、グループごとの記念撮影をしました。

＜６／１２　就労Ｂ①グループ＞

＜９／７　合同①グループ＞

＜９／１２　生介①グループ＞

＜１１／１４　生介②グループ＞

＜１１／２８　就Ｂ②グループ＞

＜１２／１２　合同②グループ＞